

高速分子動画 国際シンポジウム 2023 開催報告

開催日：2023 年 11 月 30 日(木)-12 月 1 日(金)

会場：淡路夢舞台国際会議場+Online(Zoom)

<開催報告>

2023 年 11 月 30-12 月 1 日に高速分子動画 国際シンポジウム 2023 を淡路夢舞台国際会議場にて開催しました。会場とオンラインのハイブリッドで開催し、8 カ国から現地参加 72 名、オンライン参加 65 名、総計 137 名に参加いただきました。

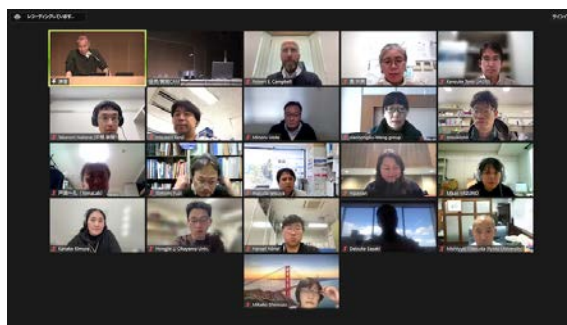
11 月 30 日、まず 6 カ国 9 名の講演者による口頭発表が行われました。最初の 3 名の講演は、タンパク質の化学修飾を含むタンパク質化学に焦点を当てたものでした。別所博士は Science 誌に掲載された非常にホットな成果 (DNA 損傷の光修復を観察する分子動画) を紹介してくださいました。次の 3 人の講演者は、タンパク質の構造ダイナミクスに関する最新の計算科学研究について講演してくださいました。高速分子動画とコンピューター・シミュレーションを組み合わせることが非常に強力な選択肢であることを確信させてくださいました。最後の 3 人の講演者は、最先端の技術を駆使した分子動画の実例を紹介してくださいました。村川博士は 2 種類の異なった「ミキシング」技術を用いることにより、酵素の触媒反応の時間変化を可視化する分子動画を紹介してくださいました。また、Panneels 博士はタンパク質への光照射により反応を開始する技術を用い、視覚の初期現象を捉えた分子動画を作成し紹介してくださいました。この動画は今年の Nature 誌に掲載され息をのむような美しさだったものです。口頭発表の後、ポスターセッションを行いました。ポスター発表は 46 件で、特に大学院生が経験のある研究者相手に活発なディスカッションをしていたことが印象的でした。

翌 12 月 1 日にはショートトークセッションを行いました。これも領域内の若手研究者に英語での口頭発表の機会を与えるために企画されたものです。全部で 32 の講演があり、4 つのグループに別れ 4 つの部屋で並行して行われました。講演の内容は、構造生物学、ケミカルバイオロジー、分子動画プラットフォームデザイン、分光学、計算化学など多岐にわたっていました。最後に全員で集合写真を撮り、本シンポジウムを閉会としました。

国際シンポジウムホームページアドレス(URL)を変更しました(2024.1-)。
https://cell.mfour.med.kyoto-u.ac.jp/mol_movie2023/



会場参加者



オンライン参加者